通常定価　1部100円（消費税込み）　年間購読料　3000円（送料含む）　平成9年4月25日　第3種郵便物許可

The Democratic Party of Japan

民主 PRESS MINSHU

山木綾子の議会ウォッチング　No81

# やまきあやこ

2013年1月20日
号外　川越版
民主党プレス民主編集部
〒350-8601
川越市元町1-3-1
川越市役所 6F
民主党議員団内

事務所　350-1137
川越市砂新田4-4-6　サングリーン高階504
TEL・FAX　049-249-3306

自　宅　350-1137
川越市砂新田5-27-9
TEL・FAX　049-242-3543

e-mail　a-yamaki.11-26@nifty.com
URL　http://www.yamaki-ayako.com

## 消防出初式

平成25年度消防出初式が1月6日市役所南側駐車場で行われた。

当日は川越鳶組合による伝統の妙技が行われ、多くの市民の皆様と観光客に披露された。地上15メートルのはしご車からの救出作戦はあっかんであった。

## 西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）の起工式

1月11日西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）の起工式が埼玉県と川越市の主催で行われた。

この事業は、平成2年に埼玉県が産業の拠点として事業化を決定しが、途中バブルがはじけ長い間休眠していた。平成15年に川越市も再度検討をし直し、産業のみならず、埼玉県の西部地域の拠点として、川越市の文化の発信基地としてやっと起工式にこぎつけた。

完成は、平成27年1月を見込んでいる。解決しなければならない事が沢山残されてはいるが、まずは走り出した。

# 山木綾子の一般質問　子ども条例の制定について

子どもは生まれながらにして、一人ひとりが独立した人格を持つ、かけがえのない存在であり、自らの力で未来を切り開く主体であると考える。

山木綾子は、子どもは地域の宝であり、すべての市民が子どもに対する責任を負っていると考えている。子どもの未来そのものが、ここ川越市の未来であると信じる。で、あるならば、その子どもたちの権利は保障され、社会全体で子どもの育ちを支える仕組みを作らなければならないと考える。

子どもにとっての責任者は、父であり、母であり、それに代わる保護者だと思う。保護者が第一義的責任を遂行するためには、子どもの年齢や、発達にふさわしい、必要な支援を行政は行わなければならないと考える。　　そこで伺いたい。

【1回目】　※　質問・答弁要旨については抜粋

1−1(質　問)

**「かわごえ子育てプラン」では、「子ども条例」はどのように位置づけられているのか。また「子ども条例」の制定について、政令市・中核市の状況は、どのようになっているのか。**

【答　弁】　子育て支援課

「かわごえ子育てプラン」では、「子どもに関する条例又は宣言等について具体的に検討する」と言う内容で位置づけられている。

政令市は20市中制定済み8市、中核市は41市中制定済み10市、制定予定4市となっている。

1−2(質　問)

**「子ども条例」を制定している市に於いては、「子どもの権利」や「子どもの責任」ついて、どのようにさだめているのか。**

【答　弁】　子育て支援課

「子どもの権利」は、生きる権利、守られる権利、育つ権利、参加する権利などを定めている。

「子どもの責任」については、他者の権利の尊重や基本的な社会のルールを守ること、いじめや差別を行わないこと等が定められている。

1−3(質　問)

**市制90周年事業の「子ども議会」の目的についてはどのように考えているのか。**

【答　弁】　広聴課

体験的な学習を通して議会制民主主義を理解することで、市制に対して関心や理解を深め、自分たちのまち川越の発展に貢献しようとする意識を高めることを目的としている。

併せて、行政として、子どもたちの目線で意見や提案を聴くことで、子どもたちが住みやすいまちづくりを推進する。

【2回目】　広聴課

2−1(質　問)

**「かわごえ子育てプラン」では、「子どもの権利」を推進するための施策と所管課についてはどのようになっているのか。**

【答　弁】　子育て支援課

「子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備に」については、地域教育支援課の「人権教育」。人権推進課の「人権啓発」がある。

「子どもの健全育成の取り組み」は、保育課が「人権保育」事業。「児童虐待防止対策」については、子育て支援課が、要保護児童の早期発見や適切な支援を図る

「要保護児童対策地域協議会」、児童の様々な問題について相談に応じる「家庭児童相談」がある。

2−2(質　問)

**「子ども議会」のような、子どもの意見を聴く場を継続的に設けることについて、今後どのように考えているか。**

【答　弁】　公聴課

今回の子ども議会は90周年記念事として

開催した。次回は100周年を迎える際に、検討していく。

継続的に開催することについては今後さらに関係部署と協議を重ねていく。

2−3（質　問）

**「かわごえ子育てプラン」では、特別な支援を必要とする子供の施策についてどのようなものがあるのか。**

**【答　弁】　教育委員会**

不登校や、ひきこもり等で、学校に登校できない児童生徒への支援については、学校と教育センター分室（リベーラ）が連携した、不登校児童生徒支援事業「いきいき登校サポートプラン」により対応している。

児童生徒の状況に応じ、専門家による相談、大学生による不登校支援事業、教育センター分室による適応指導教室による指導等がある。

市内小学校3校に、発達障害・情緒傷害通級指導教室。通常学級に在籍する発達障害のある児童生徒に対しては、自立サポーターを配置している。

生徒指導上の諸課題の対応と、児童生徒一人一人にきめ細やかな指導支援を行うためスクールボランチを配置する場合もある。

2−4（質　問）

**子どもが学校の評価や要望をするシステムが外国にはあるようだが、川越市ではそのような制度について考えているのか。**

**【答　弁】　教育委員会**

学級活動や児童会・生徒会活動に於きまして、児童生徒が主体となって、学校生活を改善していくための意見を取りまとめるなどの取り組みをしている。

学校や学級担任は、その内容に応じて学級や学校の充実に必要な点は、その改善に努めている。個別の面談の中で、子どもたちの考えを聞き取り、多くの子どもから出された考えを取り上げて、学校生活や授業の見直しに役立てている。

保護者へのアンケートとともに、児童生徒向けに、学校評価にかかるアンケートを実施し、結果を指導計画の作成に役立てたり、踏まえて指導の改善・充実につなげたりするケースもある。

2−5（質　問）

**特別な支援を必要とする子どもの施策について伺ったが、平成23年度の実績についてはどのくらいか。**

**【答　弁】　子育て支援課**

平成23年度実績で教育支援訪問事業は延べ23件、家庭児童相談事業は延べ4，150件、ひとり親相談事業は延べ、7，188件となっている。

母子家庭等日常生活支援事業は、6世帯、母子寡婦福祉資金の貸付としては167件8，461万9千円。グループ指導階は、31回開催し延べ391人の参加があった。

児童虐待防止SOSセンターの利用は通告と相談含めて、172件あった。

**教育委員会に於いても特別な支援を必要とする子どもの平成23年度の実績についてはどのくらいか。**

**【答　弁】　教育委員会**

臨床心理士が述べ136件相談に対応した。不登校支援事業においては、13名の大学生が、173回の訪問をした。

適応指導教室には10名程度の児童生徒が通級していた。

通常学級に在籍する発達障害のある児童生徒に対して自立支援サポーターを延べ81名配置した。

市内3校に設置された発達障害・情緒障害通級指導教室へ通級した児童は53名。

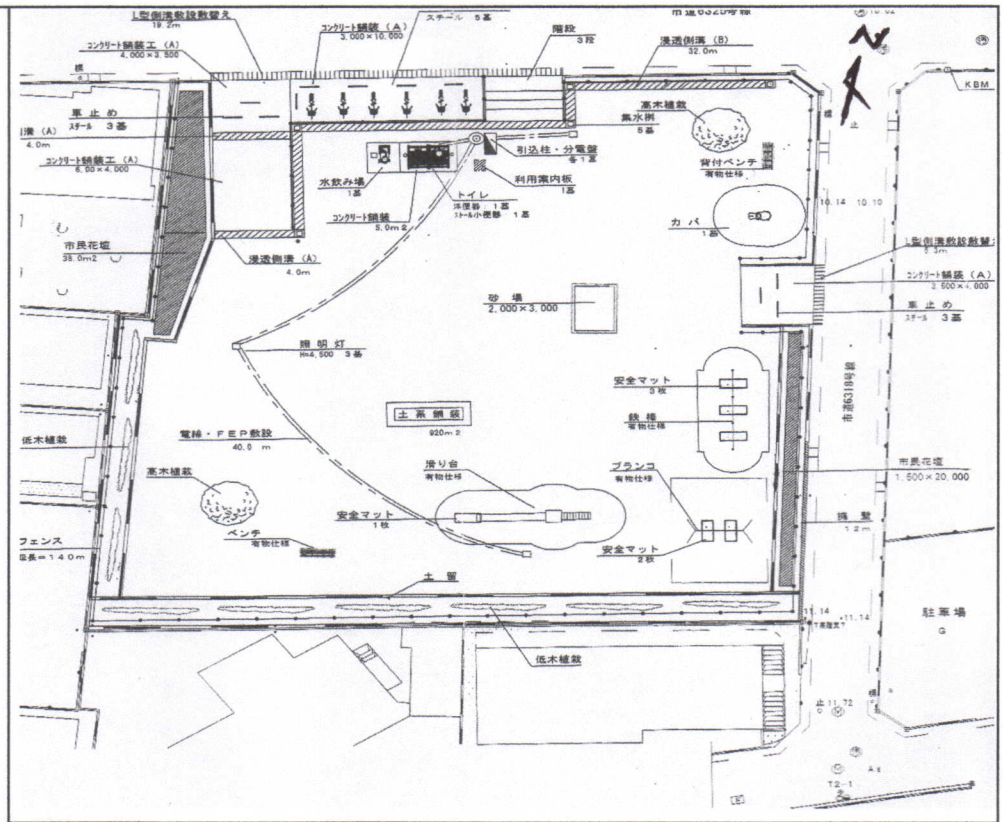
様々な生活指導上の諸課題に対応と児童生徒一人一人にきめ細かな指導・支援を行うために22名のスクールボランチを33校に配置している。

以　上

# 砂新田４丁目公園整備

川越市砂新田４丁目３番―１
１，３０６㎡

砂新田４丁目の児童公園と隣接する市民センターの駐車場を合わせて砂新田４丁目公園（都市公園）として整備を進めています。




**遊戯施設**
・砂場・ブランコ
・鉄棒・滑り台・カバ
**休養施設**
・背付ベンチ・平ベンチ
**照明施設**
・照明灯３基
**便益施設**
・トイレ２基(洋式１基)
**水飲み場**　・水栓３口
**修景施設**
・高木　シラカシ　１本　ヤマモモ　１本
・低木　オオムラサキツツジ　90株　ビヨウヤナギ　45株
**駐輪場**　・車止め　１１基　　その他、雨水対策の浸透桝等も敷設します。

## 川越市議会議員
# 山木綾子の議会報告会

皆様のお力を持って、川越市議会にお送りいただいて１０年が過ぎようといたしております。この間、皆様には多くのご支持を賜りましたことを、感謝申し上げます。

３期目の折り返しに当たり市議会を目指した時に立ち戻り、「忘れない」「染まらない」「流されない」を肝に銘じ、足踏みすることなく一歩一歩、歩んでまいります。

つきましては、下記の通り市議会の報告会を開催いたします。お誘いあわせの上ご参加頂けましたら幸いに存じます。

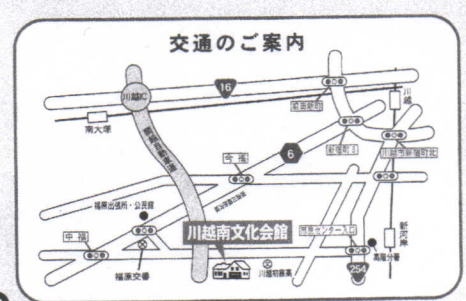
山　木　綾　子

**平成25年**

# 2/17(日)

川越南文化会館
## ジョイフル

■ 開場 13:30
■ 開演 14:00～16:00




●東武東上線新河岸駅から徒歩25分
●西武新宿線南大塚駅よりタクシーで15分
●川越シャトルバス30系統「南文化会館行き」川越駅東口広場より20分
●会館駐車場完備200台(無料)